

<p>算数 学習相談</p>		<p>学研教育情報資料センター</p> <p>小 / 算数 / 6年 / 数量関係 / いろいろなグラフ / 理解シート</p>
--------------------	---	--

こうすいりょう
気温と降水量のグラフから，どんなことを読み取ればいいのか

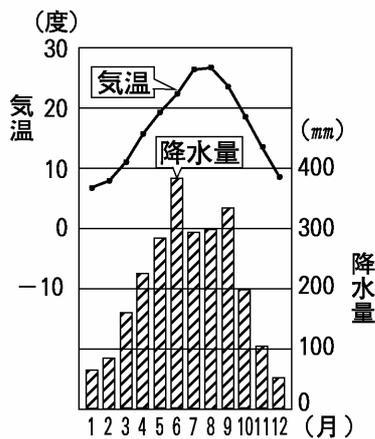


降水量（降った雨の量）と気温など，2つの量の関係を同時に読み取れるようにしてあるんだよ。

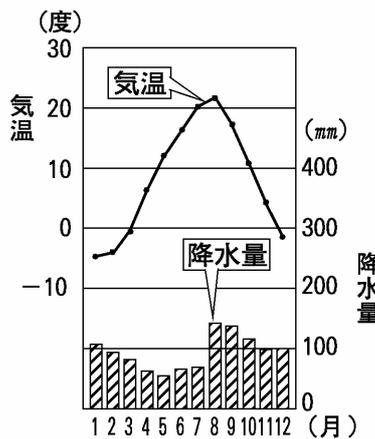


みやざき さっぽろ
下の宮崎と札幌のグラフを，調べてみましょう。

宮崎市の降水量と気温



札幌市の降水量と気温



- 左の縦軸は気温，右の縦軸は降水量です。
- 横軸は，月（1月～12月）です。
- 月ごとの棒グラフは，降水量で，その量は右の縦軸に示されています。
- 月ごとの折れ線グラフは，気温で，その温度は左の縦軸に示されています。

(1999年版・国立天文台編『理科年表』より)

2

宮崎と札幌の気温と降水量のグラフから，読み取ってみましょう。

- ① 棒グラフや折れ線グラフから，読み取りましょう。
 - 宮崎は，札幌より，冬に比べて夏にたくさんの雨が降る。
 - 札幌は，夏と冬で，宮崎ほどの降水量に大きな差はない。
 - 宮崎も札幌も，気温は冬より夏の方が高い。
 - 札幌より宮崎の方が，ぜんたいに，気温は高い。
- ② 棒グラフと折れ線グラフを組み合わせると，読み取りましょう。
 - 札幌の冬は（12月，1月，2月の気温は0℃以下），雪の形で降っていると考えられる。
 - 宮崎の冬は，札幌に比べて，暖かく，降水量が少ない。（札幌の冬は，宮崎に比べて，寒く，降水量が多い。）
 - 宮崎の夏は，気温が高く，雨が多いので，じめじめしている。（札幌の夏は，気温はあまり高くなく，雨が少ないので，からっとしている。）

水は，0℃以下になると，氷になるわね。

